

Narita Airport News

NAN

2016年12月1日号 No.299
成田空港の運用状況(2016年10月)

区 分	8月	9月	10月		日平均
			前年同月比(%)	前年同月比(%)	
航空機発着回数(回)	21,455	20,689	104	20,884	674
国際線	16,816	16,297	106	16,504	532
旅客便	14,636	14,101	106	14,295	461
貨物便	1,980	2,016	103	1,957	63
その他	200	180	108	252	8
国内線	4,639	4,392	99	4,380	141
旅客便	4,485	4,227	98	4,243	137
貨物便	101	97	120	85	3
その他	53	68	148	52	2
航空旅客数(人)	3,718,078	3,344,862	104	3,335,273	107,589
国際線	3,033,973	2,734,578	105	2,729,651	88,053
日本人	1,462,836	1,296,219	99	1,126,013	36,323
外国人	1,178,237	1,076,403	114	1,243,004	40,097
通過客	392,900	361,956	107	360,634	11,633
国内線	684,105	610,284	98	605,622	19,536
国際航空貨物量(t)	172,502	182,650	109	192,485	6,209
積込	81,521	86,834	112	90,718	2,926
輸出	45,615	51,613	109	55,559	1,792
仮陸揚	35,906	35,221	117	35,159	1,134
取卸	90,981	95,816	106	101,767	3,283
輸入	56,456	62,053	102	67,783	2,187
仮陸揚	34,525	33,763	114	33,984	1,096
給油量(kl)	397,084	379,088	100	383,674	12,377

(注) 1. 9月、10月は速報値。

2. 国際航空貨物量は東京税関の資料による。

羽田空港の運用状況

区 分	8月	9月	10月	
			前年同月比(%)	日平均
国際線(人)	1,356,694	1,240,515	115	41,351
日本人	821,764	754,599	107	25,153
外国人	534,930	485,916	129	16,197
国際航空貨物量(t)	35,531	38,038	130	1,268
積込	16,009	16,924	123	564
取卸	19,522	21,114	137	704

・国際旅客数は法務省、国際航空貨物量は東京税関の資料による。

航空機発着回数

前年同月比+5%(912回増、一昨年同月比+9%)19カ月連続で前年同月を上回り、10月として過去最高となりました。

国際線発着回数は、イベリア航空のマドリード線、ティーウェイ航空の大邱線に加え、ANAのプノンペン線の新規就航により、前年同月比+5%の16,504回となり10月として過去最高となりました。

航空旅客数

前年同月比+4%(138,125人増、一昨年同月比+14%)19カ月連続で前年同月を上回り、10月として過去最高となりま

した。

外国人旅客数は、旺盛な訪日需要がある韓国、香港等のアジア方面を中心に旅客が増加し、前年同月比+14%の1,243,004人となり、45カ月連続で前年同月を上回りました。

通過客は、前年同月比▲11%で360,634人となりました。

国際航空貨物量

前年同月比+11%(19,233トン増、一昨年同月比+8%)となり、7カ月連続で前年同月を上回りました。仮陸揚貨物量は、前年同月比+16%の69,143トンとなり、10月として過去最高となりました。

成田空港の中間決算は「減収減益」

NAA は、2016 年度 3 月期の中間決算と通期見通しを発表しました。

中間連結決算は、営業収益 1,085 億円（前年同期比 3.8%減）、営業利益 235 億円（同 8.4%減）、経常利益 212 億円（同 10.2%減）となり、中間純利益は 145 億円（同 5.6%減）で減収減益となりました。

2016 年度中間期の航空取扱量の実績は、航空機発着回数は、韓国線、台湾線などアジア方面を中心とした国際線の新規就航や増便などが相次ぎ、航空旅客数は、引き続き好調な訪日需要等を背景に国際線外国人旅客数が堅調に推移したことなどから、航空機発着回数、国際線発着回数、航空旅客数、国際線外国人旅客数、国内線旅客数は開港以来最高を記録しました。国際航空貨物取扱量は、仮陸揚貨物量が増加、給油量は、近距離・小型機材路線の割合が増えたものの発着回数が増加したことにより、国際航空貨物取扱量、給油量ともに前年同期比を上回りました。

空港営業事業は、航空発着回数は好調なものの航空機材の小型化などによる平均着陸重量の減少により空港使用料収入は伸び悩みましたが、国際線外国人旅客数の増加により旅客施設使用料収入が増加したことから、営業収益は前年同期比 1.5%増の 531 億円、営業利益は退職給付費用の増加等により同 4.5%減の 44 億円となりました。

リテール事業は、円高や中国の関税率引上げ等による中国人旅客の購買意欲の低下等により子会社の物販・飲食収入の減少とテナントからの構内営業料収入が減少したことから、営業収益は前年同期比 11.4%減の 385 億円。営業利益は同 16.6%減の 113 億円となりました。

通期の見通しは、航空機発着回数および航空旅客数は引き続き増加が見込まれていますが、いわゆる「爆買い」の沈静化等に伴う物販・飲食収入、構内営業料収入の減少が影響し、5 月時に発表した業績予想を 37 億円下方修正し、純利益は 237 億円となる見通しです。

NAA連結決算

(単位:億円)

区分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)				前回予想 (5月13日 発表)
	2015年度 実績 A	2016年度 実績 B	増減		2015年度 実績 C	2016年度 予想 D	増減		
			金額 B-A	% B/Ax100			金額 D-C	% D/Cx100	
営業収益	1,128	1,085	▲42	96.2	2,184	2,183	▲1	99.9	2,300
営業利益	257	235	▲21	91.6	433	393	▲40	90.7	449
経常利益	236	212	▲24	89.8	385	351	▲34	91.0	401
中間(当期)純利益	154	145	▲8	94.4	242	237	▲5	97.7	274

成田空港 航空取扱量

区分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)				前回見通し (5月13日 発表)
	2015年度 実績 A	2016年度 実績 B	増減		2015年度 実績 C	2016年度 見通し D	増減		
			数量 B-A	% B/Ax100			数量 D-C	% D/Cx100	
航空機発着回数(万回)	11.8	12.3	0.5	104.4	23.5	24.7	1.1	104.8	24.4
国際線	9.1	9.7	0.6	106.5	18.4	19.4	1.1	105.9	19.2
国内線	2.7	2.6	▲0.1	97.3	5.2	5.2	0.1	101.1	5.3
航空旅客数(万人)	1,931	1,993	62	103.2	3,794	3,915	121	103.2	3,909
国際線	1,576	1,637	61	103.8	3,106	3,203	98	103.1	3,212
国内線	355	357	2	100.4	689	712	23	103.3	697
国際航空貨物量(万トン)	100	105	5	104.8	198	206	8	103.9	196
給油量(万kl)	230	231	2	100.7	457	455	▲3	99.4	459

日本・カザフスタン 航空取り決めに係る合意

日本とカザフスタンの航空当局間で協議されていた直行便の開設に向けた枠組みは、11月7日に石井国交大臣とカシムベク・カザフスタン投資発展大臣との間で合意されました。

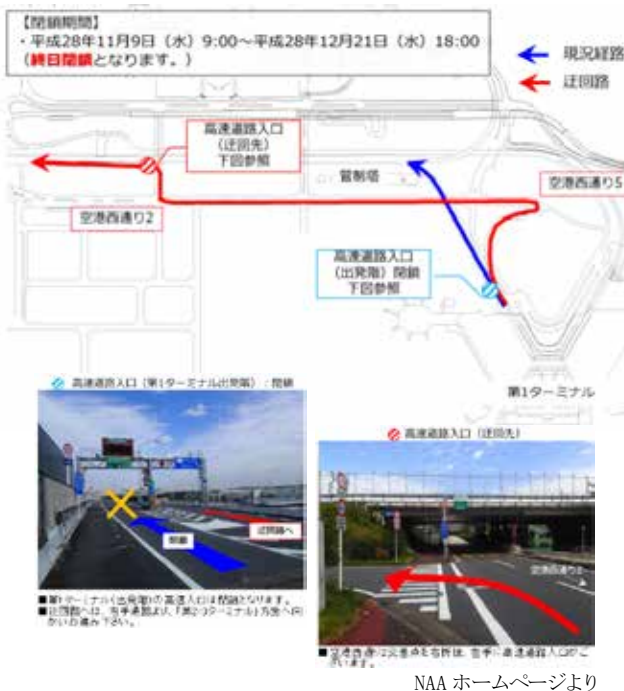
日本側企業がカザフスタンのアスタナ、アルマティ、カラガンダの3都市に、カザフスタン側企業が成田、大阪、名古屋に乗り入れることが可能となり、双方企業とも週14便までの運航を行うことができます。

現在、両国間で定期便は就航しておらず、航空協定も締結されていません。国交省は、本合意により両国の交流の一層の拡大が期待されるとしています。

第1PTB 出発階高速道路入口閉鎖

第1PTB 出発階にある高速道路入口は、11月9日から12月21日(水)18時まで終日閉鎖されています。

閉鎖期間中、貨物地区の高速道路入口を利用することになります。



航空各社の動向

チェジュ航空 成田ー釜山線を開設

チェジュ航空(JJA)は、12月15日(木)から成田ー釜山線を開設し、1日1便運航します。使用機材はB737-800型機です。

JJAは、成田ー仁川線を週21便運航しており、釜山線を加えると週28便に拡大します。

運航スケジュール(2016年12月15日~)

成田→釜山

便名	運航時刻	運航日
7C1153	14:25 - 16:55	毎日

釜山→成田

便名	運航時刻	運航日
7C1154	11:00 - 13:35	月・火・水・金
	11:25 - 13:35	木・土・日

カンタス航空 成田ーメルボルン線を開設

カンタス航空(QFA)は、12月16日(金)から成田ーメルボルン線を開設し、1日1便運航します。使用機材はA330-300型機、座席数は297席(ビジネスクラス28席、エコノミークラス269席)です。

運航スケジュール(2016年12月16日~2017年3月25日)

成田→メルボルン

便名	運航時刻	運航日
QF80	19:00 - 07:30	毎日

メルボルン→成田

便名	運航時刻	運航日
QF79	09:15 - 17:30	毎日

※2016年12月24日、25日、31日を除く

ジェットスター航空 成田ーゴールドコースト、メルボルン線増便

ジェットスター航空(JST)は、成田ーゴールドコースト線を12月13日(火)から2017年3月25日(土)まで、週5便から1日1便に増便します。

また、成田ーメルボルン線を12月14日(水)から2017年1月31日(火)まで、週4便から1日1便に増便します。機材は共にB787-8型機、座席数は335席(ビジネスクラス21席、エコノミークラス314席)です。

運航スケジュール

成田→ゴールドコースト

便名	運航時刻	運航日	運航期間
JQ12	20:25 - 06:25	毎日	12/13~3/25 ※1

ゴールドコースト→成田

便名	運航時刻	運航日	運航期間
JQ11	10:30 - 18:30	毎日	12/13~3/25 ※1

※1 1/24~1/31の火と1/21~2/25の土を除く

成田→メルボルン

便名	運航時刻	運航日	運航期間
JQ24	12:15 - 00:15	毎日	12/14~1/31 ※2
		月・木・金・土	2/1~2/25
JQ20	19:30 - 07:30	火	1/3

メルボルン→成田

便名	運航時刻	運航日	運航期間
JQ23	00:50 - 08:45	毎日	12/14~1/31
		月・木・金・土	2/1~2/25

※2 12/29はJQ22としてケアンズ経由で運航(2:20着)

ANA 成田ーホーチミン線 増便

ベトナム航空とのコードシェア開始

ANA は、10月30日から成田ーホーチミン線を1日1便から2便へ増便しました。使用機材はB767-300ER型機で、座席数は214席（ビジネスクラス35席、エコノミークラス179席）です。

また、ANA は同日からベトナム航空（HVN）とのコードシェアを開始しました。日本ーベトナム間の国際線10路線、および日本・ベトナム双方の主要な国内線25路線の便にANA とHVNの便名を付与し運航します。このほか両社は、マイレージ・プログラムの提携やHVNの客室乗務員がANA 便に乗務するなど機内サービスの向上が図られます。

ANA は7月1日、ベトナム航空との業務・資本提携に先立ちHVNの株式約8.8%を取得しています。

運航スケジュール(2016年10月30日～)

成田ーホーチミン

便名	運航時刻	運航日
NH831	16:45 - 21:45	毎日
NH833※	19:30 - 00:30	毎日

ホーチミンー成田

便名	運航時刻	運航日
NH834※	07:30 - 15:10	毎日(10月31日～)
NH832	23:05 - 06:45	毎日

※増便

香港エクスプレス 成田ー香港線 増便

香港エクスプレス（HKE）は、10月30日から成田ー香港線を1日2便から3便へ増便しました。

運航スケジュール(2016年10月30日～)

成田ー香港

便名	運航時刻	運航日
UO849※	14:45 - 19:00	毎日
UO1647	19:00 - 23:25 19:45 - 00:10	月・火・木・土・日 水・金
UO3871	16:25 - 20:55 16:25 - 21:00 16:55 - 21:25 16:55 - 21:55 16:55 - 22:10	日 水・木・金・日 火 月 土

香港ー成田

便名	運航時刻	運航日
UO832※	09:00 - 14:00	毎日
UO1646	12:50 - 18:15 13:10 - 18:15 14:00 - 18:55	月・火・木 土・日 水・金
UO3870	09:55 - 15:30 10:35 - 15:25 11:05 - 15:25 11:05 - 16:00	木 水・金 日 月・火・土

※増便

JAL 成田ーパリ線 1月～2月運休

JAL は、2017年1月11日（水）～2月25日（土）までの期間、成田ーパリ線を運休します。フランス国内で起きたテロの影響を受け需要が低迷しています。

なお、羽田ーパリ線の運航に変更はありません。

台湾のトランスアジア航空 解散へ

台湾のトランスアジア航空（TNA）は、11月22日の臨時取締役会で会社組織の解散を決定しました。TNA は、解散の理由を2014年7月と2015年2月に相次いだ航空機墜落事故のあと、安全を最優先に業務改善措置を進めてきたが以前の水準まで回復するに至らなかったと説明。今後は、旅客の航空券払戻しなど事業精算業務を確実に遂行するとしています。

同社は、1951年に台湾初の民間航空会社として設立。日本では、成田ー台北線を1日2便運航していたほか、関空、仙台、新千歳、函館、旭川線に就航、12月には福岡線の開設を予定していました。

JAL 東京ーニューヨーク線 就航50周年記念

JAL の東京ーニューヨーク線は、2016年11月12日で就航50周年を迎え、同社はこれを記念したイベントを成田空港で行いました。

イベントでは、就航当時の制服を着た客室乗務員が登場したほか、記念便となったJL6便の搭乗口62番ゲートには、就航当時のポスターなどが飾られました。また、同便の搭乗客には搭乗証明書などの記念品が贈られました。

成田エクスプレス 今年の冬も 成田空港から富士山へ直通運行

JR 東日本と富士急行は、成田空港駅と河口湖駅間を運行している富士山まで直行できる成田エクスプレスを、当初の11月27日までの運行から2017年2月26日（日）まで期間を延長しました。

運行日は、毎週土曜日と休日のほか12月30日（金）～1月3日（火）です。

第2PTBにブランドブティック 4店舗オープン

第2PTBの免税店・ブランドモール「ナリタ5番街」に、ブランドブティック4店舗がオープンしました。

11月1日「CHANEL」と「BOTTEGA VENETA」が、11月21日「CHANEL FRAGRANCE & BEAUTY SOUTH」がオープンしました。12月下旬には国内空港初出店となる「PRADA」もオープンします。



NAA プレスリリースより

成田ー韓国線 LCC 増便記念イベント

成田空港では、11月1日から12月31日(土)まで「成田ー韓国 LCC 増便記念ドリームキャンペーン」を開催しています。

NAA、韓国観光公社、京成電鉄、仁川の空港鉄道会社、チェジュ航空、エアプサン、ティーウェイ航空、イースター航空のサービスを受ける場合、キャンペーンチラシや搭乗券の半券などを提示することでオリジナルグッズのプレゼント、スカイライナー利用料金の割引が行われます。

キャンペーンチラシは、京成電鉄の成田空港駅と空港第2ビル駅もしくはLCC4社のチェックインカウンターに置かれています。

JR グループ 国内でジャパン・レール・パスを試験販売

JR グループは、2017年3月8日(水)から2018年3月31日(土)まで、訪日外国人がJR線、JRバスなどに一定期間乗り降り自由な乗車券「ジャパン・レール・パス」を試験的に日本国内で発売すると発表しました。発売所は、成

田空港駅、空港第2ビル駅のほか14駅(※)です。

「ジャパン・レール・パス」は短期滞在の観光目的訪日外国人を対象とした特別企画乗車券です。現在は日本国外で引換証を購入し、来日後パスと引き換えます。

※札幌駅、仙台駅、新潟駅、東京駅、新宿駅、横浜駅、名古屋駅、大阪駅、広島駅、高松駅、博多駅、新千歳空港駅、東京モノレール羽田空港国際線ビル駅、関西空港駅

京成バス 高速バスで無料 Wi-Fi サービス開始

京成バスは、11月12日から高速バス車内の無料 Wi-Fi サービス「Keisei Bus FREE Wi-Fi」を開始しました。2017年1月を目途に同社の高速バス163台すべてに導入されます。

無料 Wi-Fi はメールアドレスかツイッター等の SNS アカウントによる認証を行うことで利用することができます。利用時間は1回あたり90分で1日に2回まで。言語は日本語、英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、タイ語、ポルトガル語に対応しています。



無料Wi-Fiを導入した車両に掲示するステッカー

京成バスプレスリリースより

サンタクロース フィンランド航空で 成田空港に到着

11月25日、フィンランド航空(FIN)AY073便でサンタクロースが成田空港に到着しました。FINは、サンタクロースのオフィシャルエアラインとして、毎年クリスマスシーズンにフィンランド・サンタクロース財団公認のサンタクロースを日本に招いています。

サンタクロースがターミナルに姿を現すと、居合わせた保育園児は大喜びで駆け寄り、お客様も足を止めて写真に収めたり、一足早いクリスマス気分を味わっていました。



サンタさんの登場に喜ぶ園児たち

国土省 2016年冬ダイヤ 日本発着国際定期便の主な動向

国土省は、2016年冬ダイヤにおいて日本に就航する国際線定期便の概要をまとめました。本邦航空会社8社、外国航空会社103社の合計111社による国際線定期便の事業計画の第1週目の運航便数を集計した結果、日本を発着する旅客・貨物便の合計は、週間5,043.5便で過去最高となりました。旅客便では、アジア方面が全体の8割を占めています。

旅客便の主な動向は、成田空港では、韓国社がLCCを中心に大幅増、本邦社がホーチミン線を増便しました。羽田空港では、本年2月の日米航空交渉の結果を受け、昼間時間帯を活用して本邦社によるニューヨーク線及びシカゴ線、米国社によるミネアポリス線などが開設しました。

単位:便/週

旅客			
空港	2016冬期	2016夏期	2015冬期
成田	1,574	1,561	1,496.5
羽田	747.5	718	678
関西	1,094.5	1,111.5	1,038.5
中部	323.5	349	342
地方	854	816	793
福岡	331	317	302
那覇	165	158	158
新千歳	135	107	102
その他	223	234	231
計	4,593.5	4,555.5	4,348
貨物			
空港	2016冬期	2016夏期	2015冬期
成田	243.5	244.5	251.5
羽田			
関西	141	144.5	149
中部	22	22	22
地方	43.5	41	41
福岡			
那覇	38.5	36	36
新千歳			
その他	5	5	5
計	450	452	463.5
全体			
空港	2016冬期	2016夏期	2015冬期
成田	1,817.5	1,805.5	1,748
羽田	747.5	718	678
関西	1,235.5	1,256	1,187.5
中部	345.5	371	364
地方	897.5	857	834
福岡	331	317	302
那覇	203.5	194	194
新千歳	135	107	102
その他	228	239	236
計	5,043.5	5,007.5	4,811.5

訪日客 初の年間2千万人突破 10月の訪日客213万6千人

日本政府観光局（JNTO）が発表した2016年1月から10月までの訪日客数の累計が、初めて2,000万人を突破し前年同期比23.3%増の2,011万3千人となりました。観光庁長官によると、2016年の訪日客数について、「特別な外的要因がなければ、暦年で2,400万人前後に達するのではないか」との見通しを示しました。

国・地域別の累計では、中国（551万2千人）からの訪日客が最も多く、次いで韓国（416万9千人）、台湾（358万8千人）、香港（149万7千人）、米国（103万3千人）の順となりました。

また、10月の訪日外客数は、前年同月比16.8%増の213万6千人となり、これまでの10月として過去最高だった昨年10月の182万9千人を約30万人上回りました。

国・地域別では、ロシアを除く19市場が単月として過去最高を記録しました。特に欧米豪の市場については、軒並み20%を超える大幅な伸びを記録し、10月の訪日外客数の増加に貢献しました。

第2PTB 「ビックカメラ」オープン

11月25日、第2PTB本館4階のエアポートモールに「Air BIC CAMERA」がオープンしました。営業時間は、7時30分から21時まで、営業者は日本空港ビルデング株。

同店では、炊飯器などの調理家電、掃除機、デジタルカメラ、理美容家電、音響機器や腕時計などの訪日外国人のお客様に人気のアイテムのほか、SIMカード、旅行用家電など日本人のお客様向けのアイテムが取り揃えられています。

(店舗イメージ)



第2旅客ターミナル本館4階
「エアポートモール」



Air BIC CAMERAのHPより

居住地別（沿岸部、内陸部）に見る中国人旅行者の旅行動向調査

～ ‘爆買い’ 後の真の日本の魅力とは～

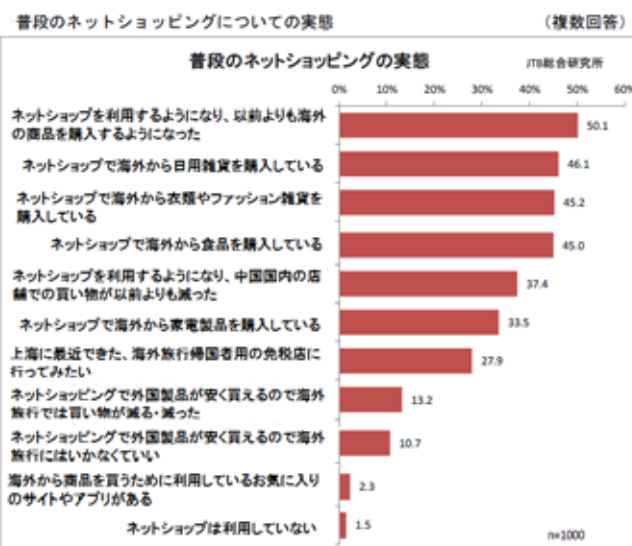
出典：JTB 総合研究所

株式会社 JTB 総合研究所は、「居住地別（沿岸部都市、内陸部都市）に見る中国人旅行者の旅行動向」についての調査研究を発表しました。

観光を目的とした日本への旅行の計画と意向について聞いたところ、3年以内に日本へ旅行をしてみたいと答えた人は、全体の6割でした。日本への旅行を予定している時期を聞いたところ、沿岸部の84.0%、内陸部の95.4%、全体では89.7%が1年以内の旅行を計画している人でした。3ヵ月以内に行きたいと考えている旅行者は、沿岸部25.6%、内陸部64.6%という結果となりました。



越境 EC とは海外から商品をインターネットで購入する電子商取引をいいます。中国政府の内需拡大政策で、海外で購入した商品に課す関税引き上げや、越境 EC の推進で、日本での爆買いが影を潜めつつある中、普段のネットショッピングの実態を日本への旅行予定者に聞きました。全体の半数がネットショップを利用するようになり以前よりも海外の商品を購入するようになった」と回答し、また「8月に上海にオープンした中国人専用の海外旅行帰国者用免税店に行ってみよう」とは、全体の27.9%になりました。



日本旅行の経験回数を見ると、1回の経験者は全体で35.9%に留まり中国人旅行者もリピーターが多くなっています。沿岸部では1回の経験者の割合が44.5%、若くなるほど日本への旅行経験が多くなり、20代では44.7%が3回以上日本旅行を経験しています。逆に内陸部では、3回以上の経験者は48.7%と沿岸部より回数が多く、40代では3回以上日本への旅行を経験している人が58.9%と6割を占めています。

日本への旅行は沿岸部では20代、内陸部では40代以上がけん引しているようです。

日本旅行の経験に関わらず行ってみたい場所では沿岸部、内陸部ともに「東京」が最多となりました。してみたいことは、「自然風景鑑賞」「温泉に入る」「お花見・紅葉狩り」「ラーメンなど日常的な食事を楽しむ」が上位となりました。

日本人との交流で望むことは、「日本人の日常生活に触れたい」が最も多く、訪日経験1回は40.1%、2回は48.7%、3回以上は55.3%と回数が増えるにつれて増加することにも注目です。

キーワードは「日本の日常生活に触れたい」

沿岸部と内陸部の旅行者の共通の特徴として「日本の日常生活に触れたい」という気持ちが高いことがあげられます。受け入れる側としては、お客さまに対して「何か特別なことをしなくては」と思いがちですが、特別なおもてなしが必ずしも喜ばれるとは限りません。訪日中国人に向けた特別なサービスや商品を提供するのではなく、いかに日本の「日常」を魅力的に伝えられるかが今後の鍵となるのではないのでしょうか。

‘爆買い’先細るが、中国人の消費熱は下がらない

今回の当社の調査では日本に旅行を予定している中国人も、越境 EC でのショッピングや上海の免税店に高い関心を寄せていることが分かりました。日本国内での爆買いは先細っても、中国人旅行者の消費への情熱そのものが冷えたわけではないことが分かりました。

日本での買い物は、旅行者の居住地域別にはやや沿岸部の方が積極的に買い物をしたい、それも日本の菓子や化粧品など日本人が使用するものを好む傾向が出ました。内陸部は沿岸部よりはやや日本酒や工芸品など日本的なものを好む傾向が見られました。電化製品や海外ブランドも決して人気がないわけではなく、むしろ沿岸部のリピーターは購入意向が日本の日用品より高い傾向にあります。

これから日本に旅行しようと考えている中国人は、単なる買い物目的ではなく、日本をより知ってみたいと関心を持ってくれる人たちです。単に日本で人気の日用品を単品販売するだけならば、越境 EC になり変わる可能性は十分あります。買う行為を体験したり、モノと地域をつなげたりすることで、買うだけの価値から訪れる価値への真の転換が必要です。

【調査概要】

調査手法：インターネットアンケート調査
 調査期間：2016年9月9日（金）～9月14日（水）
 対象者：以下にあげる中国の都市に在住する20歳以上中国人男女1,969名（スクリーニング調査）から、3年以内に日本への旅行を計画している世帯年収12万円（約240万円）以上の対象者1,000名を抽出し本調査を行った。
 沿岸部（上海、北京、広州、深圳、福州、大連、瀋陽）居住：500名、
 内陸部（成都、重慶、長沙、西安、合肥、鄭州）居住：500名

中部空港

2018年夏に複合商業施設オープン

中部国際空港(株)は、2018年夏頃にボーイング787初号機「ZA001」を中心とした複合商業施設「FLIGHT OF DREAMS」をオープンすると発表しました。施設名には、ボーイング787ドリームライナーを中心として新しい飛行機を夢見た人々と、施設を訪れる人々の夢があふれる場所となることへの期待の意味が込められています。施設の建築面積は約5,000㎡、延床面積は約1万㎡、高さは約24m、地上3階の建造物になります。

施設の1階は、ZA001を中心とした展示エリアとなり、「見る」「読む」「動く」「触る」「聞く」といった対話形式の体験コーナーを配置し、2階は、米国シアトルの街並みをイメージした商業エリアとなり、ZA001の翼の真下で食事が食べられるフードコートが計画されています。3階は、LCCターミナルや大規模展示場をつなぐ通路になり、歩きながらショッピングも楽しめる空間になる予定です。

ボーイング787の機体の35%は中部地域で製造されており、大型貨物機ドリームリフターにて、ボーイング社の米国内最終組立工場に輸送されています。その初号機であるZA001は、昨年6月の最終フライト終了後、中部国際空港(株)に寄贈されました。



中部国際空港 HP より

さくらの山公園に
航空機グッズ店オープン

11月3日、成田空港北側に隣接する成田市の公園「さくらの山公園」に航空機の部品を再利用したグッズを販売する「FLIGHT SHOP CHARLIE'S (フライトショップ・チャーリーズ)」がオープンしました。さくらの山公園を管理する成田市とさくらの山公園管理組合が、地元在住の航空写真家チャーリー古庄さんに協力を依頼し実現したものです。

同ショップでは、航空機で実際に使用されていたビジネスクラスのシートや窓などの航空機部品や航空機タイヤを使ったテーブルなどのオリジナル商品を販売しているほか、成田空港を拠点とするLCC3

社(ジェットスター・ジャパン、バニラエア、春秋航空日本(Spring Japan))のオリジナルグッズなどを取り揃えています。また、航空写真を撮る人向けにデジタル一眼レフカメラの貸し出しも行っています。

さくらの山公園は、成田空港のA滑走路北側の小高い丘に位置しており、桜の木や低木が植樹され、四季折々の風景とともに航空機の離着陸が眺められることから、航空写真を撮影するスポットとなっています。2015年3月26日にオープンした観光物産館「空の駅さくら館」では、地域の野菜や土産物の販売を行っています。営業時間は10時から18時まで、年中無休です。

発酵の里こうざきに

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン行き停留所新設

千葉交通は、12月12日(月)の出発便より夜行高速バス/銚子・成田・秋葉原~京都・大阪線のルートの一部変更します。

停留所「大栄」が廃止され、無料駐車場完備の停留所「発酵の里こうざき」が新設されます。また、京都駅八条口停留所の乗り場がG3からH2(ホテル京阪前)に変更されます。なお、既存停留所における時刻変更はありません。

CS AWARD 2016 AUTUMN

受賞者決定!

成田空港CS協議会事務局は「CS AWARD 2016 AUTUMN」の受賞者を発表しました。

受賞者には、成田空港CS協議会会長(NAA CS推進部長)が各職場を訪問し、表彰状の授与と記念品の贈呈が行われます。

受賞者は、以下6社10名の方々です。

【受賞者】

- | | |
|-----------|--------------------|
| ○大竹 恵美子さん | NAA セーフティサポート(株) |
| 藤田 均さん | 〃 |
| ○百木 与簡さん | 春秋航空日本(株) |
| ○笥 敦博さん | セコム(株) |
| ○小川 国明さん | (株)NAA リテイリング |
| ○宮良 愁さん | (株)ジェイ・エス・エス |
| ○三上 綾香さん | ANA 成田エアポートサービス(株) |
| 片桐 綾香さん | 〃 |
| 寺崎 小百合さん | 〃 |
| 小池 幸恵さん | 〃 |

エアポート・クリスマスフェスティバル 2016

12月10日(土)に第2PTB 前中央広場にてナリタエアポートクリスマス・フェスティバルが開催されます。

【プログラム】

- 11時00分 オープニング
 11時15分 千葉黎明高等学校 吹奏楽部
 11時45分 動物戦隊
 ジュウオウジャーショー(1回目)
 12時25分 ANA NRT Sky Band
 13時00分 空港周辺市町 PR 抽選会
 13時50分 千葉大学 AX ダブルダッチ
 14時30分 動物戦隊
 ジュウオウジャーショー(2回目)
 15時10分 日本航空スイングジャズクラブ
 シルバーウイングス
 15時40分 アテンポハンドベルリンガーズ
 16時15分 サニーサイドゴスペルクラブ
 16時50分 お楽しみ抽選会
 17時30分 クリスマスツリー点灯式
 17時40分 chay クリスマスライブ
 18時30分 エンディング

語学教室受講生 募集中

振興協会では、空港スタッフを対象とした語学教室の受講生を募集中です。

英会話初級クラスは、毎週受講曜日を選べる「曜日選択制」です。詳細は下記までご連絡ください。

【募集クラス】

- 英会話初級 : 火曜日 19:00-19:55 (曜日選択可)
 " : 水曜日 18:00-18:55 (")
 " : 木曜日 19:00-19:55 (")

- 英会話中級 : 水曜日 19:00-19:55
 中国語初級 : 木曜日 18:00-18:55
 中国語中級 : 火曜日 18:00-18:55
 受講料は各クラス月額6,200円。別途残代必要。
 会場は、第2駐車場ビル南棟3階。

(一財)成田国際空港振興協会 公益推進部
 語学教室担当 麻生・菊川・成毛 TEL:0476-34-6393
 詳しくはこちら→ <http://www.npf-airport.jp/>

CS セミナーのお知らせ

開催場所は全て第2PTB2 階国際会議室(M2244)です。

「接客マナー講座」

- 日 時 ①基礎編 12月8日(木)
 ②応用編 12月16日(金)
 ①・②とも14時00分~15時30分
 講 師 ①(株)ノビテク 越山 揺巳香 氏
 ②(株)GMR 田井 暢子 氏

「中国語セミナー」

- 日 時 12月14日(木)
 14時00分~15時30分
 講 師 (一財)成田国際空港振興協会
 栗栖 尚美 氏
 内 容 空港内お役立ち超入門中国語
 「並んでください」「少々お待ちください」って何て言うの?接客に役立つ、
 超入門者向けセミナーです。

「英語セミナー」

- 日 時 12月22日(木)
 14時00分~15時30分
 講 師 成田国際空港(株)
 板橋 法子 氏
 内 容 中級接客英語(実践編)
 空港内でよく使うフレーズやご案内方法を紹介します。

【お問い合わせ】

(一財)成田国際空港振興協会 担当:松本・栗栖
 TEL:0476-34-6333 Email: cs@npf-airport.jp

航空科学博物館のイベント

■クリスマス行事

- 日 時 12月23日(祝・金)
 ①12時00分~ ②15時00分~
 場 所 航空科学博物館 西棟展示室
 費 用 入館料のみ
 内 容 クリスマスソング中心のコンサートを
 開催します。

■「1番機と初日の出をみよう」

- 日 時 1月1日(日) 5時00分開館
 場 所 5階 展望展示室
 費 用 入館料のみ
 内 容 新年に成田国際空港に飛来する1番機と
 初日の出を5階展望展示室などから観覧
 します。

【お問い合わせ】

航空科学博物館 TEL:0479-78-0557

新年賀詞交歓会のご案内

年頭恒例の『成田国際空港 新年賀詞交歓会』を下記により開催いたします。
賀詞交歓会は、成田空港関連企業が正月慣例の挨拶まわりを省略し、一堂に会して相互間の
友誼・親睦を深める機会づくりを目的としています。本年1月4日は、114社488名が参加
されました。

新規会員を募集していますので、入会を希望される企業は、12月16日（金）までに事務
局へお問合せください。

開催日時：平成29年1月4日（水） 14：00～15：00（13：30受付開始）

会 場：ホテル日航成田 大宴会場『鶴の間』

参加者：官公署、会員企業・団体

会 費：2万円（1企業）

主 催：日本航空(株)【当番幹事】

成田国際空港(株)

日本空港ビルデング(株)

全日本空輸(株)

日本貨物航空(株)

事務局：一般財団法人成田国際空港振興協会（Tel.0476-34-6343）



尾 翼

♪ ニューヨークは粉雪らしい
成田からの便は間に合うだろうか
片っぱしから友達から借りまくれば
決して行けない場所でもないだろう
ニュー YORK くらい ♪
(中島みゆき「永遠の嘘をついてくれ」)

B七八七の直行便に乗って成田からニューヨークへ行って来た。この一〇年、私は毎年一度は海外へ一人旅をすることになっている。イスタンブール、マラケシュ、カイロ、カトマンズ、キナバル、これらの街は、皆テロや大災害で危険な街に変わってしまった。気儘な一人旅といっても家族の承諾は必要だ。妻や子供からはこれ以上危ないとこへ行くなど釘を刺されたので、米国で唯一行っていない大都会、ニューヨーク（以下「NYC」と言う。）に行く事にした。どうせ、ツマラナイ旅になるだろうな、と思っていた。何故かって？初老の英語もまともにできない日本人が一人でピンボ旅行していても、欧米では見向きもされないのは経験上よく知っていたからだ。

ところが、NYCは楽しかった。ミュージカルやジャズよりもセントラルパークで見知らぬ若者たちと「ピカチュウ」「ドラゴンなんたらかんたら・・・」とたわいのないオシヤベリしながらポケモンgoして遊んだのが楽しかった。セントラルパークから有名な歌手のマドンナが表れても誰も振り向かない。皆スマホに夢中だ。

帰国したら、NYCは世界で最も大好きな都会のひとつに変わっていた。タイムズスクエア、グランセントラル、ブルックリン、又行きたいと思う。中島みゆきの歌のように、成田からニューヨークに又行きたい。

みんなの汗と涙でつくった大切な成田空港から

(M・N)